

# 常任委員会

第5号議案から、第22号議案までの計18議案について、定例会2日目（2月18日）の本会議で質疑が行われた後、所管の常任委員会に審査が付託されました。  
審査の中で論議された主な点は次のとおりです。

## 総務財政常任委員会

委員長 安藤 佳生  
副委員長 制野 敬一  
委員 沼倉 昭仁・沼倉 啓介  
小川 正人・佐藤 英雄  
鈴木 康弘

◎第6号議案・白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
〔質疑〕この改正は行財政改革の一環なのか伺いたい。  
〔答弁〕市民に参加していただいている白石市行政改革懇談会で提案があり、各種委員会の審議時間を調査した上で改正をしようとするものである。

◎第7号議案・白石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例から第11号議案・白石市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

〔質疑〕今回導入される育児休業の概要と、この休業を取得した職員の分を補充する考えはあるのか伺いたい。  
〔答弁〕少子化対策の一環として、職業生活と家庭生活の両立を図るため、育児部分休業の対象範囲を、3歳までであったものを6歳までに拡大するとともに、新たに、育児短時間勤務として6歳まで時間給での短時間勤務を可能とするものである。

## 建設産業常任委員会

委員長 山谷 清  
副委員長 大野 栄光  
委員 菅野 恭子・菅野 浩一  
安斎 多実男・志村 新一郎  
大町 栄信

職員の補充については基本的には内部職員でカバーしていく考えだが、ケースによっては一年単位の短時間勤務職員を採用することもある。



◎第15号議案・白石市肉用牛貸付基金の設置、管理及び処分に關する条例

〔質疑〕この条例の目的・制度の運用について伺いたい。  
〔答弁〕肉用牛繁殖雌牛貸付事業と優良繁殖雌牛保留奨励事業の2事業をこの基金によって実施しようとするものである。

このうち、優良繁殖雌牛保留奨励事業については成績優秀な繁殖雌牛を基礎雌牛として指定し、生産された雌子牛

を保留するため、保留奨励に係る経費の一部を助成することにより、ブランド化を図り、優秀な繁殖雌牛を確保しようとするものである。

◎第16号議案・白石市企業立地促進条例の一部を改正する条例

〔質疑〕今回、改正することによってどのようなメリットがあるのか伺いたい。

〔答弁〕交付対象に償却資産も加えることにより、企業にとっては、企業の保有する資産のうち大きな割合を占める償却資産が加わることは大きな魅力であり、企業がより進出しやすくなるものがある。

また、企業立地奨励金について、「土地の取得」要件を削ることにより、既存の企業に対し増設による規模の拡大を促し、雇用の拡大につながるが見込まれる。



〔質疑〕既存の企業について現行の建物を取り壊し、それを上回る面積の建物を建設した場合は対象となるのか伺いたい。

〔答弁〕生産能力及び面積の拡大が認められた場合は対象となる。

また、当市は高度電子機械産業集積地区に入っているのも、もし、高度電子機械産業が進出し、固定資産税を減免した場合には交付税措置がなされる。



市内の高度電子機械産業